

# よもやまだより 4月号

発行: 玉庭地区交流センター四方山館 住所: 川西町大字玉庭 6708-5 電話: 0238-48-2130 FAX: 0238-48-2131 MAIL: tama-cen@ms5.omn.ne.jp

## 新年度にあたりごあいさつ

地区の皆様には日頃より四方山館の運営にご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

春の足音が少しずつではありますが近づいてきている今日この頃です。

令和7年度がスタート致しました。

物の値段が次々に上がり、特に車を使わなければ生活できない現状ではガソリン価格の上昇はたいへんきびしいと感じています。四方山館においても、事業執行にあたり物価高騰の影響が少しずつ出てきています。国の物価高対策を期待したいものです。

超高齢化、少子化、人口減少と年々厳しさを増していますが、玉庭で住み続けられる地域づくりに傾注しなければと考えます。激しく変わる社会情勢や多様なニーズへの対応、その時々々の要望にできるだけ応えていくことが大事です。前例にならうことだけでなく、柔軟な対応でやり方を変えることで住民の方に満足していただけるものになると思います。

本年度も職員一丸となって努力してまいります。地区の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。

玉庭地区交流センター 四方山館 館長 佐藤 準一

## 令和7年度 玉庭地区交流センター役員について

4月13日(日)玉庭地区交流センター四方山館総会をもってご承認頂き、令和7年度の役員が決定致しました。総会資料は、準備ができ次第配付させていただきますので、そちらもご確認頂けますようお願い致します。

(敬称略)

**館長** 佐藤準一(酒町)

**副館長** 田宮健一(酒町)

### 役員会役員(自治会長)

須貝安勝(上和合)

伊藤義和(中程)

小野昌彦(酒町)

高橋幸浩(朴沢)

磯部治彦(御伊勢町)

川嶋博之(松尾)

鈴木賢徳(柏ノ木西)

### 運営委員

渡部新正(上和合)

村山邦男(御伊勢町)

佐藤修(松尾)

本間昌司(酒町)

大河原弘(朴沢)

藤田宥宣(御伊勢町)

黒澤和典(中程)

佐藤昌子(酒町)

長澤耕次(柏ノ木西)

遠藤光一(朴沢)

### 自治会長会

会長/副会長/監事

⇒5月号にてお知らせ致します。

### 公民館長代表

⇒5月号にてお知らせ致します。

**役員会監事** 高橋博昭(中程)

大滝治則(御伊勢町)

**役員会顧問** 吉村徹(酒町/町議)

鈴木孝司(松尾/前館長)

### 愛護会会長

須貝哲也(朴沢)

### 玉庭地区保護者会

会長

石黒知和(松尾)

副会長

丹野雅行(柏ノ木西)

## 菅沼峠事業説明会開催

去る3月25日(火)に菅沼峠事業説明会が四方山館で行われました。当日は玉庭・中津川両地区住民、置賜総合支庁道路計画課・用地課、川西・飯豊両町の地域整備課、

ケンコン(株)の合わせて28名が出席しました。置賜総合支庁道路計画課の担当者が、これからの事業の進め方について説明を行いました。工事区間は、峠を上り左に曲がるヘアピンカーブを過ぎた地点から町境までを3工区に分けるとのことです。今年度は、測量用地買収・保安林解除申請を行い、工事は8年度(1工区)からになります。工事は通行止めにして行うため地区の皆様にはご不便をおかけすることとなります。今後も工事がスムーズに進捗するよう関係機関への働きかけを続けてまいりますのでご協力を宜しくお願い致します。



## 館報記事

館報への記事掲載依頼は毎月5日までお願い致します。



4月号から館報担当を藤本から青木にバトンタッチしました。

宜しくお願いします。



# 玉庭ひなまつり

大雪だった玉庭にも春が訪れました。そして“ひなまつり”。感染症の流行で数年、開催を見合わせておりましたが、今年「1日だけ」、「おふるまい無し」で、名称も「ひなまつり」と変え、再出発しました。「月刊 あづま〜る」への掲載後、問い合わせも多く寄せられ、当日は地区内外から約180名の方が来場されました。瑞光寺、松尾公民館、廣学館、四方山館の見学所に加え豆屋文三郎さんにもひな人形を飾って頂きました。

四方山館では物販、そして子ども達による四方山太鼓の演奏もあり、にぎわいに花を添えました。松尾公民館では、玉庭の力士“小汐山”関連の展示や紙芝居も行い、お雛様のみならず広く玉庭の歴史や文化を見て頂くことができました。再出発1年目と言うこともあり、縮小した形でしたが、大雪での駐車場の確保等、例年になく大変な面もありました。準備、展示、当日の対応と多くの方にご協力頂き、開催することができました。ありがとうございました。

※小汐山の紙芝居は上小松 小林幸子（ゆきこ）さんの作品で、当日は齋藤美貴子さん（松尾）に読んで頂きました。

## ひなまつりギャラリー



写真をもっと見る！⇒



# むくり鮎が文化庁100年フードに認定されました。

## 「伝統の100年フード部門 ～江戸時代から続く郷土の料理～」

町の産業振興課から応募の打診があり、地域における歴史的、文化的背景を調べ応募しました。“上杉鷹山公が推奨した”とされた部分が注目され、資料の追加依頼があったり、認定までは容易ではありませんでした。鷹山公推奨の歴史的根拠となる文献は見つかりませんでしたが、「かてもの」、「樹畜建議」そして玉庭に住む下級武士等の背景を伝えたことで、「地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化」と言う100年フードの主旨を満足するものと認められ、認定されました。調査、応募にあたり地域おこし協力隊が過去にまとめてくれた資料も大変役立ちました。



むくり鮎掲載ページ（文化庁）



## 100年フードとは…

地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を、100年続く食文化「100年フード」と名付け、文化庁とともに継承していくことを目指す取り組み。認定後は、各種メディアで認定団体の活動が数多く取り上げられたり、ロゴマーク入りの商品が販売可能になる等のメリットがあります。



100年フードのページ（文化庁）

# 特別豪雪地帯 玉庭

降った、積もった今年の冬！量が多いだけではなく、昔と比べ短期間に集中して降るので除雪が追いつかず、よけい大変に感じるような気がします。四方山館周辺に、数カ所マーキングをし、融雪後積雪深を計りました。YUKIMATSURI(ゆきまつり)が終わって数日後のマーキングだったので、ピーク時は計測結果にプラス15～20cm位あったと思います。個人的に測定器を設置している方もいらっしゃるとうかがいました。来シーズンは四方山館でも測定器を設置しようか検討(?)



計測結果 240cm



館内の一部のイラストは「イラストAC」のイラストで、利用規約に基づき使用しています。

## たまにわ放課後子ども教室お別れ会

3/24(月)、放課後子ども教室では、お別れ会が行われました。今年度は、3名の中学生が卒業となりました。四方山太鼓をはじめ、いろいろなことを教えてくれ、そして一緒に遊んでくれたお兄さん、お姉さんに、下級生、小学生でお礼の気持ちを込め部屋を飾りつけ、メッセージ、花束等を準備しました。当日は、都合により卒業生は1名だけの参加となりましたが、メッセージカード、花束等準備した物を渡しました。たくさんの思い出を胸に新たな一歩を踏み出す3名の卒業生を心から応援したいと思います。時々子ども教室に顔を見せに来てください。

ご卒業 おめでとうございます。  
大木 和香 さん  
加藤 紡 さん  
山家 樹 さん



編集後記: 大変な冬だったけど、溶けていく雪に少し寂しさを感じてしまいます。「♪ 春なのにい〜♪」っていう歌を聞いて、ちょっとだけ“おセンチ”に… (青)